

安全報告書 2015

(2014年度分)



蔵王温泉スキー場

普通索道	蔵王中央ロープウェイ (通年営業) 蔵王スカイケーブル (通年営業)
特殊索道	蔵王中森第1トリプルリフト 蔵王中森第2ペアリフト 中央第1ペアリフトA・B線 中央第2ペアリフトA・B線 ダイヤモンド第1ペアリフト ダイヤモンド第2ペアリフト 蔵王パラダイスペアリフトA・B線 蔵王パラダイス第3ペアリフト 片貝トリプルリフト 蔵王菖蒲沼第1トリプルリフト (休止中) 蔵王菖蒲沼第2ペアリフト

蔵王観光開発株式会社

1. ごあいさつ

平素は、蔵王中央ロープウェイ・蔵王スカイケーブルをはじめ当社各リフトをご利用いただき、誠にありがとうございます。

さて、当社は平成26年10月2日をもって、株式会社ヤマコー索道事業部と事業統合を行いました。役職員一同、「安全輸送」を最優先し、心新たに社業の発展に取り組んでまいります。

当社は、東北最大級のスキーリゾートであります蔵王温泉スキー場の中央部に位置し、101人乗りの中央ロープウェイと4人乗りのスカイケーブルは、冬季は各ゲレンデやスキーコースそして世界的にも有名な樹氷原コースへ、夏季はハイキング・トレッキングコースへのアクセスとして多くのお客様からご利用をいただいております。

グリーンシーズンには1,370mの鳥兜山頂展望台から月山や鳥海山そして朝日連峰、飯豊連峰の眺望、また蔵王中央高原散策路や不動滝周辺のブナ林および蔵王ドッコ沼などの湖沼群がビュースポットならびに観光ポイントであります。

ホワイトシーズンは初滑りから5月連休の春スキーまで、スキーシーズンが蔵王で一番長い中央ゲレンデ、ビギナーやファミリー向けの中森ゲレンデやダイヤモンドバレー、樹氷原近くのパラダイス、菖蒲沼ゲレンデで多くのお客様がスキー・スノーボードを楽しまれております。

ご利用いただいたお客様に、ご満足いただけるよう取組を推進しておりますが、「輸送の安全確保」がすべての事業・サービスの基本であると考え、引き続き継続して関係法令の遵守を徹底し、運転の取扱、保守整備、安全対策などに社内一丸となり取り組んでまいります。

本報告書は、鉄道事業法及び運輸安全マネジメントに基づき、平成26年度に実施した輸送の安全確保の取組や実態について、皆様にご理解いただくために公表するものであります。

今後も、安全で快適な輸送のため鋭意努力してまいり所存でございます。何卒、倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

蔵王観光開発株式会社

取締役社長 小 関 和 夫

2. 安全方針と安全目標

(1) 安全方針

当社の経営理念の第一は、輸送の安全確保です。安全に係わる行動規範を次の通り掲げ、社長以下全従業員に周知・徹底しております。

- ① 私たちは、一致団結してすべてにおいて安全を最優先します。
- ② 私たちは、定められたルールに従い、安全運転を行います。
- ③ 私たちは、安全の維持・向上に努めます。
- ④ 私たちは、安全運転を通じお客様に最高のサービスを提供します。

(2) 安全目標

輸送安全目標は次の通りです。

- ① 設備不具合による事故を未然に防ぎ、事故発生ゼロの達成・維持
- ② 人身障害事故ゼロの達成・維持

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1) 索道運転事故

平成26年度、索道運転事故はありません。

(2) 災害（地震や暴風雨、豪雪など）

平成26年度、強風・雷・豪雪等のため下記の通り運行を停止しました。

蔵王中央ロープウェイ	17日	延19時間
蔵王スカイケーブル	18日	延55時間
中央第1ペアリフトA・B線	1日	延5時間
ダイヤモンド第2ペアリフト	1日	延2時間
蔵王パラダイスペアリフトA・B線	5日	延30時間
蔵王パラダイス第3ペアリフト	12日	延53時間
蔵王菖蒲沼第2ペアリフト	5日	延28時間

(3) インシデント（事故の兆候）

平成26年度、国土交通省へのインシデント報告はありません。

(4) 行政指導等

平成26年度、東北運輸局からの指導はありません。

4. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 人材教育

当社では、人材育成が重要と位置づけており、社内・社外講習には積極的に参加し、索道技術の習得・向上に努めております。

- スノーシーズン営業開始前に施設及び取扱い等について、全従業員を集めて安全教育を実施しました。



〔社長訓示〕



〔従業員講習・説明会〕

- 社外教育研修・講習会に積極的に参加し、技術・安全意識の向上を図り、受けた講義を社内で活用しております。

講習名	実施日	参加人数
索道技術研修会	平成26年7月	2名
索道技術管理員等講習会	平成26年9月	1名
索道技術管理者講習会	平成26年9月	3名
雪上車安全運転と救急法講習会	平成26年11月	4名

緊急時対応訓練

○ 救助訓練

普通索道は年2回、特殊索道はスノーシーズン前に1回行っております。



〔蔵王中央ロープウェイ〕



〔蔵王中央ロープウェイ〕



〔蔵王スカイケーブル〕



〔蔵王スカイケーブル〕



〔特殊索道〕

○ 予備原動機取扱講習

普通索道は年2回、特殊索道はスノーシーズン前に1回行っております。



〔蔵王中央ロープウェイ〕



〔蔵王スカイケーブル〕



〔蔵王スカイケーブル〕



〔特殊索道〕

(2) 安全確保のための交換・修繕

安全の維持・向上のため、毎年計画的に施設の修繕を行っております。

平成26年度に実施した修繕等は次の通りです。

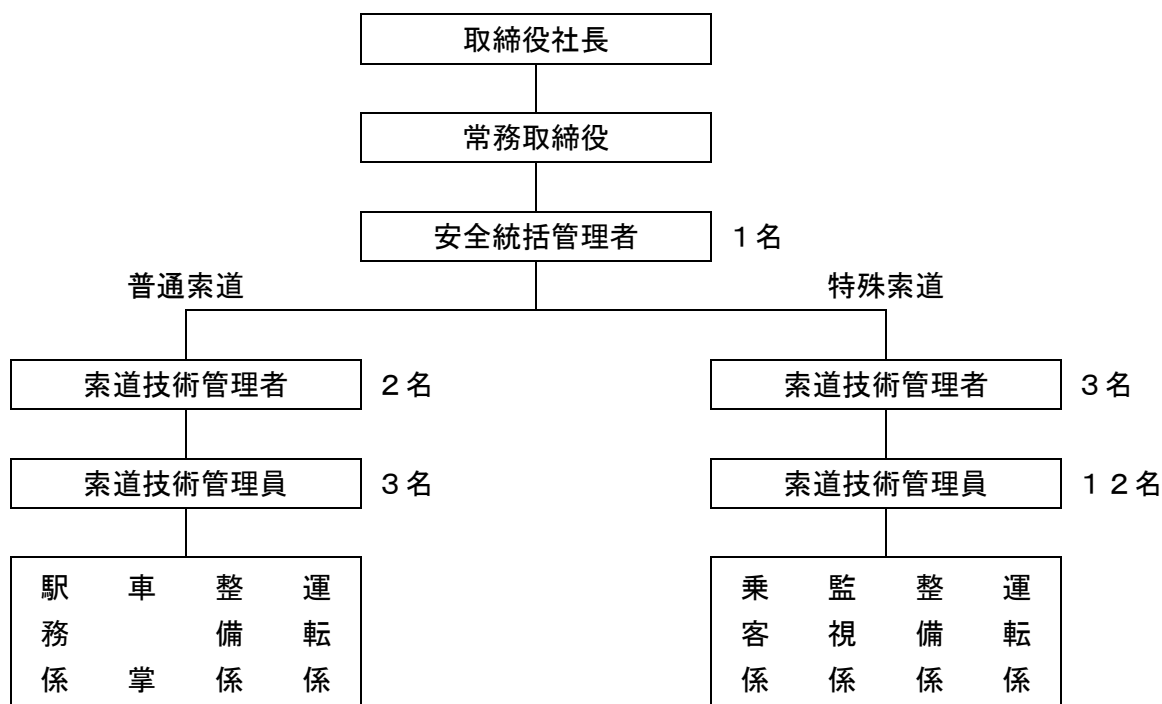
- 中央ロープウェイ 原動設備更新
- 中央ロープウェイ ゴムライナー交換（2か所）
- スカイケーブル 握索機さらばね交換（25台）
- スカイケーブル 握放索装置検査・調整
- スカイケーブル 線路監視カメラ代替
- 中央第1リフトA線 握索機交換（25台）
- ダイヤモンド第1リフト 緊張滑車軸のオーバーホール
- ダイヤモンド第1リフト 緊張滑車ゴムライナー交換
- ダイヤモンド第1リフト 緊張索交換（2本）
- ダイヤモンド第1リフト 減速機ギヤオイル交換
- ダイヤモンド第2リフト 電磁接触器・継電器一部交換
- 片貝トリプルリフト PLG交換
- 普通・特殊索道 受索輪交換
- 普通・特殊索道 主要軸受の振動検査

5. 当社の安全管理体制

当社では、輸送の安全確保のため、安全管理体制の最終責任者を社長とし、以下安全統括管理者、索道技術管理者及び索道技術管理員を配置しております。各々の役割・責任・権限は下記の通りです。

(1) 役割・責任・権限

- ① 社 長 : 輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。
- ② 安全統括管理者 : 索道事業全般の輸送の安全確保に関する業務を統括管理する。
- ③ 索道技術管理者 : 安全統括管理者の指揮の下、索道の運行管理、索道施設の保守管理、その他技術上および係員教育等の事項に関する業務を統括する。
- ④ 索道技術管理員 : 索道技術管理者の指揮の下、担当する索道の運行管理、索道施設の保守管理、その他技術上の事項に関する業務を管理する。



6. お客様との関係とお願い

(1) お客様からのご意見

当社では、お客様の立場に立った、より安全で信頼される索道事業を推進しております。お客様からのお寄せいただいた声は真摯に耳を傾け、当社の財産として、安全で信頼される索道事業を目指し、皆様の期待に応えられるよう努めてまいります。

- 「お客様の言葉」
それは私たちが行動していくための「原点」です。
- 「お客様の期待」
それは私たちが行動していくための「意欲」です。
- 「お客様の感動」
それは私たちが行動していくための「喜び」です。
- 「お客様の評価」
それは私たちが行動していくための「改革」です。

(2) お客様情報の管理

お客様の個人情報を守ることは私たちの基本的なルールです。お客様の情報を本人の同意がある場合、法令に基づく場合等の正当な理由なく、他に漏らす事はありません。

(3) 利用者等への注意事項

- ① 乗り降りに不慣れなお客様は、遠慮なく係員に声をかけて下さい。
- ② 空き缶・煙草の吸い殻・その他の物品を、乗っているリフト等から投げ捨てないで下さい。
- ③ 搬器から飛び降りたり、搬器を揺らさないで下さい。
- ④ 衣服・携帯品・髪の毛等が施設に巻き付かないように注意して下さい。
- ⑤ 混雑時は、ロープウェイ・リフトの定員乗車にご協力下さい。

7. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見をお寄せ下さい。

〒990-2301

山形県山形市蔵王温泉940-1

蔵王観光開発株式会社 お客様係

TEL : 023-694-9168 FAX : 023-694-9167